

## 第 224 回

## クラシックファンのためのコンサート

2021年 10月7日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

## 東口 泰之 ファゴットリサイタル

## ピアノ 黒瀬 紀久子



〈プログラム〉

シューマン  
幻想小曲集 op.73サン＝サーンス  
ファゴットソナタ Op.168ウェーバー  
アンダンテとハンガリー風ロンド Op.35

第224回は東口泰之氏をお迎えし、ファゴットリサイタルを行いました。プログラムは、ピアノとクラリネットのために書かれたシューマンの「幻想小曲集」、とても美しいサン＝サーンスの「ファゴットソナタ」、ヴィオラとオーケストラのために書いたものを作曲者のウェーバー自身が後にファゴット用に書き直した「アンダンテとハンガリー風ロンド」でした。オーボエと同じくダブルリードのファゴットは、リードの善し悪しで演奏が変わるので、リード作りにも余念が無いと話されていました。1メートル以上の大きな楽器と奏者が一体となり、体ごと表現されている姿がとても印象的でした。柔らかく深みのあるファゴットの音色とピアノが奏でる音楽に心癒やされ、久しぶりの生演奏を楽しみました。

〈ご来場者のアンケートより〉

- ・ファゴット中心の演奏会は初めてですが、温かくて表情豊かな音色に癒されました。東口さんのお話しも凄く楽しかったです。サン・サーンスのソナタにファゴットの良さが感じられました。
- ・一本のファゴットとピアノ伴奏でこんなに華やかな、伸びやかな音の世界が広がるのかと驚きでもって聴いていました。
- ・ファゴットの素晴らしさを堪能した1時間でした。シューマンはクラリネットでしか聴いたことが無かったのですが、ファゴットも素晴らしいですね。サン・サーンス、ウェーバーはファゴットのための曲で素晴らしかったです。フォーレも良かったです。
- ・ファゴットのソロは初めて聴きました。ご本人も言われるように、チェロのように人の声に近く、とてもまろやかな音色、それでいて伸びのある音が飛んできました。特にウェーバーの最初のところはどーんと伸びてきました。サン・サーンスの1楽章、黒瀬さんのピアノがキラキラと、とっても綺麗な音で吸い込まれました。



## NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB [classicfan.jp](http://classicfan.jp) MAIL [contact@classicfan.jp](mailto:contact@classicfan.jp)